

8. 指定障害福祉サービス事業

(1) 気仙沼市松峰園

【概要】障害者総合支援法及び気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市に居住する知的障害のある方を対象に、指定就労継続支援B型事業サービスを適切に提供し、障害者の自立を支援しました。

【事業実績】

月	就労継続支援B型	開所日数	入所者数	退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	46	22	0	0	829	37.7
5	46	21	0	0	786	37.4
6	46	22	0	0	880	40.0
7	46	16	0	0	585	36.6
8	46	21	0	0	780	37.1
9	46	20	0	0	726	36.3
10	46	21	0	0	758	36.1
11	46	22	0	0	783	35.6
12	46	21	0	0	751	35.8
1	46	20	0	0	649	32.5
2	46	19	0	0	692	36.4
3	46	23	0	0	856	37.2
計	552	248	0	0	9,075	36.6
前年度	552	252	1	0	9,715	38.6

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年5月12日	虐待防止、苦情対応について	松峰園内部研修
5月31日	新たな津波想定に関する説明会	気仙沼中央公民館
8月4日	安全運転管理者講習会	本吉町はまなすの館
8月10日	処遇改善取得セミナー	オンライン研修
8月18日	事故防止研修	松峰園内部研修
12月14日	苦情、事故防止研修	松峰園内部研修
12月15日	福祉サービスの苦情に関する研修会	オンライン研修
12月15日	自家用自動車整備管理者講習会	オンライン研修
令和5年2月7日	気仙沼市障害者自立支援協議会	市民福祉センターやすらぎ
2月16日	宮城県就労会計の運用ガイドライン研修	オンライン研修
2月17日	気仙沼市障害者就労セミナー	市民福祉センターやすらぎ
3月9日	事故防止研修	松峰園内部研修
3月10日	特別支援教育推進委員会	魚市場庁舎
3月17日	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	オンライン研修
3月20日	気仙沼市障害者自立支援協議会基盤整備部会	市民福祉センターやすらぎ

【成果】令和4年7月及び年末に利用者の新型コロナウイルスの罹患者が発生しましたが、保健所の指導の下、施設内消毒等感染対策を徹底して行い、蔓延防止に努めました。

新たに目標工賃達成指導員を配置し、新しい清掃作業に取り組むなど工賃の増額に努めました。

(障害福祉等サービス等事業収入目標達成度 97.4% 前年度 99.4%)

【課題】新型コロナウイルスの影響で利用控え等により給付費収入に落ち込みがみられ、今後、感染症が再拡大した場合でも、減収幅を抑えられるような取り組みが必要です。

【今後の取組】現在、市内5か所の外部清掃作業と4種類の園内作業に携わっていますが、適時、作業内容を見直し効率化を図りながら作業収入を増やせるよう取り組みます。

【決算】事業活動による収入 73,053,407円 事業活動による支出 66,040,753円
 施設整備による支出 330,880円
 その他の活動による支出 3,126,640円
 (基金への繰出し 1,000,000円含む)
 当期資金収支差額 3,555,130円

(2) 気仙沼市みのりの園

【概要】障害があっても地域で安心して生活できる施設の存在と、利用者の意思や個性を尊重し、家庭と連携を図りながら、生活の質の向上と障害者の自立に向けたサービスの提供に努めました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	31	20	0	0	448	22
5	32	19	1	0	423	22
6	32	22	0	0	514	23
7	32	22	0	0	469	21
8	32	21	0	0	344	16
9	32	22	0	0	383	17
10	32	22	0	1	455	21
11	31	22	0	0	444	20
12	31	22	0	0	464	21
1	31	21	0	0	448	21
2	31	20	0	0	367	18
3	31	22	0	0	452	21
合計	378	255	1	1	5211	20
前年度	383	247	2	2	5938	24

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年5月25日	障害者虐待防止に関する内部研修	みのりの園
5月31日	津波浸水に関する説明会	気仙沼市中央公民館
6月2日	みのりの園家族会総会	本吉保健センター「いこい」
6月22日	自衛消防避難訓練（火災想定）	みのりの園
7月4日	ハラスメント内部研修	みのりの園
7月4日	津波発生時の避難行動マニュアル策定会議	みのりの園
6月21日～7月8日	利用者定期健康診断	本吉病院
8月4日	安全運転管理者講習	はまなすの館
8月5日	新型コロナ感染症対策オンライン研修	みのりの園
9月1日	新型コロナ感染症対策伝達研修・防護具着脱研修	みのりの園
9月29日	障害者虐待防止・身体拘束に関する職員会議	みのりの園
11月22日	令和4年度感染症予防オンラインセミナー	社協本吉支所
11月24日	園内自衛避難訓練	みのりの園
11月25日	職員内部研修（虐待防止、身体拘束適正化）	みのりの園
12月2日	気仙沼保健福祉事務所主催「精神疾患を学ぶ」研修会	気仙沼保健福祉事務所
12月15日	令和4年度福祉サービスの苦情解決に関するオンライン研修	みのりの園
12月16日	職員スキルアップ研修「虐待防止WEB研修」	社協本吉支所
2月27日	職員内部研修（身体拘束適正化・強度行動障害ケース）	みのりの園

【成果】利用者の健康管理と安全面を最優先に、新型コロナウイルス感染対策を徹底しながらサービスの提供に努めました。夏以降、気仙沼圏域で新型コロナウイルス感染症が急増し、利用者や家族数名が罹患するも、予防策により拡大を防ぐことができました。

7月からは利用者の心身の安定と介護者の負担軽減を目的として、休日における余暇支援日を設定し、様々なレクリエーション活動や創作活動を提供しました。一定数の利用があり、休日における利用ニーズを確認し、喜びを得られるよう工夫しました。

介護者が体調を崩し急遽入院されるケースがあり、自宅以外の生活の場が必要となり相支援事業所と連携して入所施設の見学と体験利用をサポートし、退院までの間、利用者や家族が安心して生活を送れるよう支援しました。

(障害福祉等サービス等事業収入目標達成度 80.8% 前年度 97.8%)

【課題】新型コロナウイルスの流行によりケアホーム入居者が健康観察のため連続して欠席する状況が続き大幅な減収となりました。更には近隣の他事業所との併用や高齢化により、曜日指定の利用も増えてきており、安定経営に向けて新規利用者開拓が課題となっています。また、利用者や介護者の高齢化も顕著となっており、親亡き後も安心して生活できる場の確保とスムーズな移行支援が求められています。

【今後の取組】新型コロナウイルス感染症への対策を継続しながら、施設のBCPの推進に努めます。サービスの質の更なる向上を図りながら、行政や地域の相談支援事業所や教育機関と連携し、新規利用者獲得に繋がるようPRと情報収集に努めます。

利用者の自立を促す活動メニューを工夫するとともに、地域住民と交流する機会を設定しコロナ禍で希薄となっていた繋がりへの再構築を図り、障害者に対する理解と支援が得られるよう働きかけを行います。

年間開所日を262日（令和4年度比較7日増）とし、休日における余暇支援日を定期的に設定し、引き続き利用者の生活リズムの安定と介護者のレスパイトケアを図りながら収入増に繋げていきます。

【決算】事業活動による収入	43,605,162円	事業活動支出	42,898,113円
		施設整備等による支出	346,500円
		その他の活動による支出	3,947,680円
		（基金への繰出2,500,000円を含む。）	
		当期資金収支差額	△2,414,711円
		（前期末支払資金から充当）	

(3) 気仙沼市マザーズホーム

【概要】児童福祉法及び気仙沼市障害児通所支援施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣に居住する障害児及び保護者の方々を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業、宮城県障害児等療育支援事業を適切に提供し、日常生活の基本動作や集団生活への適応力の向上及び保護者の養護負担の軽減や精神的安定の向上に努めました。また、令和元年度より開始しました「保育所等訪問支援事業」「宮城県障害児等支援事業」を受託し、発達障害者地域支援マネジャーを配置することにより、教育・医療機関との連携が更に強化されました。障害児者やその家族、支援者が地域で安心して生活が送れるよう支援に努めました。

【事業実績】

月	児童発達支援 放課後等デイ	開所日数	入所者数	退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	18	20	3	1	132	6.6
	29	25	4	0	174	7.0
5	19	20	1	0	148	7.4
	29	22	0	0	173	7.9
6	19	23	0	0	188	8.2
	29	26	0	0	205	7.9
7	20	20	1	0	150	7.5
	29	27	0	0	169	6.3
8	20	21	0	0	134	6.4
	30	25	1	0	132	5.3
9	20	21	0	0	152	7.2
	30	24	0	0	150	6.3
10	21	20	1	0	172	8.6
	30	25	0	0	180	7.2
11	21	20	0	0	166	8.3
	30	24	0	0	177	7.4
12	21	21	0	0	162	7.7
	29	24	0	1	164	6.8
1	21	19	0	0	156	8.2
	28	23	0	1	141	6.1
2	20	19	0	1	158	8.3
	27	22	0	1	151	6.9
3	14	23	2	8	171	7.4
	25	26	0	2	212	8.2
計	234	247	8	10	1,889	7.6
	345	293	6	5	2,028	6.9
前年度	243	244	12	10	1,857	7.6
	318	294	6	3	2,491	8.5

【保育所等訪問支援事業】

月	契約者数	解約者数	訪問回数
4	継続11・新規1	0	6
5	0	0	10
6	2	0	15
7	0	0	15
8	0	0	5
9	0	0	14
10	0	0	12
11	0	0	15
12	0	0	13
1	1	0	12
2	1	0	12
3	0	0	17
計	16	0	146
前年度	10	3	106

令和5年3月31日現在の利用状況

小学校・・・7校（7人）

保育所・・・5園（5人）

幼稚園・・・3園（3人）※認定こども園含

【宮城県障害児等療育支援事業】

相談件数115件 主な内訳としては下記のとおり

(1) 来所による療育指導【相談件数：38件】

- ・相談の傾向：保育所や幼稚園、学校に関すること
- ・支援の内容：幼稚園や保育所との連携

(2) 訪問による療育相談・指導【相談件数：58件】

- ・相談の傾向：受診や相談について・障害特性について 等
- ・主な内容：保育所や幼稚園の対応方法・本人の関わり方 等

(3) 障害児の通う保育所や放課後児童クラブ、障害児通所支援事業等の療育技術の指導【相談件数：19件】

- ・地域のニーズや支援内容：障害のあるお子さんの対応について
- (4) 発達障害者地域支援マネジャーとの連携
(連携の具体例について)
- ・ペアレント・プログラムの実施
- ・幼稚園・保育所、小学校での対応困難児に対しての巡回訪問の実施
- ・障害者の相談

【発達障害者地域支援マネジャー配置事業】

(1) 相談件数 262件

未就学:82件/小学生:110件/中学生:40件/15歳～18歳:23件/20代:5件 /30代:2件

(2) 市町村及び事業所等への支援

- ・講師派遣 気仙沼市特別支援コーディネーター連絡協議会幼保部会講師
気仙沼市子ども家庭課主催「児童福祉施設等職員研修会」
気仙沼市特別支援コーディネーター連絡協議会講師
気仙沼市立牧沢きぼう保育所職員研修会
南三陸町特別支援コーディネーター連絡協議会
相談支援事業所研修会

- ・他機関主催の会議に出席

(3) 家族支援

- ・ペアレント・プログラムの実施
- ・ペアレント・トレーニングへの参加
- ・南三陸町「母親教室」実施
- ・子育て支援セミナー

(4) その他

県（子ども総合センター）との連携：医療相談の実施/研修会講師依頼
医療機関との連携 17件

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年5月10日	第1回発達障害等支援機関打ち合わせ	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
5月16日	第1回特別支援コーディネーター連絡協議会	気仙沼市教育委員会
5月23日	気仙沼市発達支援事業遊びの会打ち合わせ	健康管理センターすこやか
5月29日	就学に関するガイダンス	気仙沼市教育委員会
5月30日	新たな津波浸水想定に関する説明会	気仙沼市中央公民館
6月 2日	令和4年宮城県障害児通園施設連絡協議会 総会及び施設長会議	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
6月 8日	第2回 気仙沼圏域定期連絡会	気仙沼市マザーズホーム
6月 9日	令和4年発達障害者地域支援マネジャー巡回訪問	気仙沼市マザーズホーム
6月14日	第1回 気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市教育委員会
6月24日	気仙沼市障害福祉フォーラム役員会	福祉センター「やすらぎ」
7月 8日	ペアレントトレーニング打ち合わせ	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
7月 9日	知っている役立つ「療育手帳の話」	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
7月12日	職場におけるハラスメント防止対策に関する研修会	気仙沼市マザーズホーム
7月13日	第3回 気仙沼圏域定期連絡会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
7月15日	ペアレント・トレーニング実践研修	宮城県子ども総合センター
7月29日	ペアレント・トレーニング実践研修	宮城県子ども総合センター
8月 5日	障害福祉サービス事業所等新型コロナ感染症対策	社会福祉協議会本所（オンライン）

8月22日	ペアレント・プログラム実施研修	宮城県子ども総合センター
9月7日	第4回 気仙沼圏域定期連絡会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
9月14日	第2回 気仙沼市教育支援委員会	魚市場前庁舎
9月20日	あそびの虫「みんなで一緒に楽しく遊ぶ」	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
9月21日	学校公開見学会（早期支援）	聴覚支援学校小牛田校
10月5日	第3回 気仙沼市教育支援委員会	魚市場前庁舎
10月18日	放課後等デイサービス連絡協議会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
10月19日	令和4年度発達障害者圏域別研修	気仙沼保健福祉事務所
10月24日	第1回技術支援研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
10月25日	特別支援教育コーディネーター連絡協議会	魚市場前庁舎
10月29日	災害ボランティア講座～助け合ってご（GO）～	福祉センター「やすらぎ」
11月1日	将来的に必要なお金について考える	福祉センター「やすらぎ」
11月7日	ペアレント・トレーニング実地研修	宮城県子ども総合センター
11月14日	第4回 気仙沼市教育支援委員会	魚市場前庁舎
	対応が難しい児童への支援を考える	気仙沼市マザーズホーム
11月19日	行動療法について	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
12月2日	発達障害者圏域別研修	気仙沼保健福祉事務所
12月15日	福祉サービス苦情解決に関する研修会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
12月20日	宮城県障害児通園施設連絡協議会情報交換会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
令和5年1月10日	就学について	気仙沼市マザーズホーム
1月15日	障害者福祉施設等における虐待防止と対応	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
1月25日	成人期発達障害地域支援ネットワーク研修会	オンライン（マザーズ/保健福祉事務所）
1月27日	宮城県ペアレントトレーニング啓発研修会	気仙沼保健福祉事務所
2月14日	親と子のイイ関係	気仙沼市マザーズホーム
2月16日	第2回技術支援研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
2月20日	ペアレント・プログラムスキルアップ研修・取り組み報告会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
2月19日	障害者福祉施設等における虐待防止と対応	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
2月28日	ペアレント・メンター勉強会	福祉センター「やすらぎ」
3月10日	気仙沼市特別支援教育推進委員会	魚市場前庁舎
3月15日	宮城県発達障害者地域支援マネジャーの利用	福祉センター「やすらぎ」
3月17日	令和4年度指定障害福祉サービス事業者集団指導	松峰園（オンライン）

【成果】児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業とも、ほぼ同じ在籍人数で推移し、今年度で4年目を迎える保育所等訪問支援事業は契約児童も年々増えてきています。活動内容が地域の幼稚園や保育所、小学校に認知・評価されたことと相談支援専門員や保健師など支援に係る関係機関等に評価されてきています。

「宮城県障害児等療育支援事業」において、昨年度より取り組んでいる「ペアレントプログラム」を今年度は健康増進課・地域マネジャーと共同で取り組み保護者の支援を行いました。発達障害者地域支援マネジャーを気仙沼圏域で初めて配置し、2次支援機関として、支援者の支援機関として研修会の講師の依頼をはじめ、教育機関や医療機関との連携など多種多様な動きが求められています。

放課後等デイサービスのサービス提供時間の延長に加え、ご自宅までの送迎サービスを保護者のニーズに応えたことにより、児童発達支援事業から当放課後等デイサービス事業への移行児童について唐桑地区を除き、全ての家庭から利用に繋がりました。

（障害福祉等サービス等事業収入目標達成度 93.5% 前年度 119.1%）

【課題】放課後等デイサービス事業において、ご自宅等におけるコロナ感染拡大に伴い利用児の欠席や利用控えに伴い、利用率の低下となりました。また、保護者から要望の多かった学校の長期休業中の利用時間の延長も試みましたが、コロナ禍により減少傾向となりました。また、児童発達支援事業利用児のご家庭において就労しているケースが多いことから、ご自宅までの送迎を希望するご家庭が増えていきます。同様に放課後等デイサービス事業においても、利用児の学校数が増えることに伴い、職員の送迎対応への負担が増すことが懸念されます。

児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、保育所等訪問事業及び宮城県障害児等療育事業においては、保護者や各関係機関からの要望と困難対応のケースが増えてきていることから、専門的知識の習得について職員の更なるスキルアップに取り組む必要があります。

【今後の取組】関係機関との連携が構築され、保育所等訪問支援事業や宮城県障害児等療育支援事業、発達障害者地域マネジャー配置事業が地域に定着し始め、療育の中核的役割が求められています。今後、ペアレント・プログラムとペアレント・トレーニングを取り入れた保護者支援に取り組み、家族に寄り添った支援を心掛けていきます。

【決算】事業活動による収入	60,586,121円	事業活動による支出	40,250,137円
その他の活動による収入	674,920円	その他の活動による支出	16,334,480円
		(基金への繰出15,500,000円含む。)	
		当期資金収支差額	4,649,424円

(4) 指定特定相談支援事業（松峰園相談支援センター）

【概要】障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、適切な福祉サービスが総合的かつ効果的に提供できるよう指定計画相談支援を行いました。

【事業実績】

月	新規契約者	実契約者	契約作成数		
			計画作成者数	更新	モニタリング
4	0	51	1	0	5
5	0	51	0	0	6
6	0	51	0	1	21
7	0	51	0	1	9
8	0	51	0	1	4
9	3	51	0	1	26
10	17	71	0	2	6
11	0	71	0	3	6
12	0	71	0	4	23
1	0	71	0	5	11
2	1	72	1	3	4
3	0	72	0	11	18
計	21	734	2	32	139
前年度	2	604	63	23	124

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年4月20日	第1回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
5月18日	第2回相談支援連絡会	グループホームサンハイツ
6月15日	第3回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
8月31日	臨時相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
9月21日	第6回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
10月19日	第7回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
11月2日	将来必要なお金について考える	市民福祉センターやすらぎ
11月20日	宮城県相談支援従事者現任研修	宮城県庁講堂
令和5年1月14日	宮城県相談支援従事者現任研修	宮城県庁講堂
1月15日	気仙沼市権利擁護研修会	オンライン研修
2月15日	第11回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
3月15日	第12回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ

【成果】気仙沼市から依頼を受け51件の計画、モニタリングを行い適切なサービス提供に結びつけ、市や他相談事業所との連絡調整を行い、連携機能を高めるとともに現任研修を受講し、スキルアップを図りながら児童20人の計画相談支援にも取り組みました。

（障害福祉等サービス等事業収入目標達成度 140.6% 前年度 99.8%）

【課題】利用者、家族の高齢化に伴い、相談内容も複雑化しており、障害区分認定が必要な方へのサービス利用を促し、児童の保護者にはマザーズホーム等の児童関連事業所と連携し、児童福祉サービスの理解を深めながら、対象児の将来を見据えた支援を行うことが必要です。

【今後の取組】障害児童については学校、保育所及び幼稚園等と連携し、より良い支援に繋がるよう、適切な支援計画の作成に努めます。障害者についても各事業所との連携を図りながら本人にとって、適切なサービス利用がスムーズに行えるよう支援計画の作成に努めます。

【決算】事業活動による収入	2,583,230円	事業活動による支出	1,312,112円
		その他の活動による支出	500,000円
		当期資金収支差額	771,118円

(5) 指定共同生活援助事業（グループホーム「つばさ」）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、地域で共同して日常生活を円滑に営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、日常生活の援助を適切に行いました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	入所者数	退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	4	23	0	0	81	3.5
5	4	22	0	0	81	3.7
6	4	22	0	0	81	3.7
7	4	16	0	0	59	3.7
8	4	23	0	0	86	3.7
9	4	23	0	0	79	3.4
10	4	22	0	0	82	3.7
11	4	24	0	0	89	3.7
12	4	24	0	0	88	3.7
1	4	22	0	0	77	3.5
2	4	22	0	0	83	3.8
3	4	25	0	0	90	3.6
計	48	268	0	0	976	3.6
前年度	48	257	0	0	925	3.6

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年4月15日, 26日	通院支援	市内
5月6日, 27日	通院支援	市内
6月3日, 27日, 29日	健康診断支援	市内
7月7日, 8日	通院支援	市内
7月26日	がん検診支援	市内
8月5日, 19日, 23日	通院支援	市内
9月2日	世話人、職員研修（防災研修）	松峰園内
9月6日, 9日, 15日	通院支援	市内
10月7日, 20日, 8日	通院支援	市内
11月4日,	通院支援	市内
12月1日, 2日, 5日	通院支援	市内
12月17日	買物支援	市内
令和5年1月5日, 6日	通院支援	市内
1月7日, 9日, 27日	買物支援	市内
2月6日, 9日, 15日	通院支援	市内
2月12日	避難訓練（地震）	つばさ内
3月2日, 6日	通院, がん検診支援	市内
3月3日	世話人、職員研修（虐待防止研修）	松峰園内
3月19日	避難訓練（地震）	

【成果】令和4年7月に松峰園内で新型コロナウイルスの罹患者が発生しましたが、利用者の抗原検査や施設の消毒等感染対策を施し、感染症の蔓延防止に努めました。

松峰園本体の臨時開所日を設け、グループホームの入居者も楽しみを得ながら利用できたことにより、利用延人数の増加に繋がりました。

（障害福祉等サービス等事業収入目標達成度 95.6% 前年度 99.4%）

【課題】利用者の高齢化に伴い、通院支援の回数が増えています。季節の変わり目から体調を崩し易く、通院支援や食事対応等の個別の支援が課題です。

【今後の取組】新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、松峰園の臨時開所に合わせた生活のリズム作りや生活の楽しみを得られるように配慮します。また、個々の状態に合わせた通院支援等を行いながら健康管理に努め、地域で安心した生活が送れるよう支援を行います。

【決算】事業活動による収入 5,901,285円 事業活動による支出 5,465,366円
当期資金収支差額 435,919円

9. 居宅介護等事業

【概要】障害者総合支援法に基づき、障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画によるサービス提供に努めました。

(1) 訪問介護ステーションからくわ

【事業実績】

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	11	12	12	14	14	14	14	14	14	15	12	13	159	73
回	120	118	129	126	134	125	138	131	138	156	141	145	1,601	445

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	4	4	4	4	4	3	2	3	3	2	3	4	40	41
回	17	23	25	22	10	6	3	10	19	28	31	35	229	282

【成果】支援計画に基づき、利用者及び家族の意向に沿ったサービス提供ができました。休止中の利用者には相談支援事業所を通じて声掛けを続け、利用再開に繋がり安定確保ができています。深夜帯の緊急対応も行い、夜間も安心できるサービスに努めました。また、新型コロナウイルス感染症対策にも取り組んでいます。

(障害福祉サービス等事業収入目標額達成率・居宅介護 100.2% 前年度 100.9%)

(障害福祉サービス等事業収入目標額達成率・同行援護 110% 前年度 107.7%)

【課題】利用者の年齢層が高くなり、介護保険サービスと併用しているケースが増えています。個々の障害の特性を理解してサービス提供しているも、本人のペースに合わせた支援が難しい場合もあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、実績減になった月もありました。

【今後の取組】利用者のご家族が、住み慣れた地域で安心して日常生活を送れるように、各関係機関と連携をして、サービス体制の充実を図ります。また、満足度の高いサービス提供ができるように、質の高いケアを目指し実践し、引き続き新型コロナウイルスの感染予防対策にも取り組みます。

【決算】事業活動収入 12,219,320 円 (居宅介護 10,536,040 円、同行援護 1,683,280 円)

事業活動支出 11,810,000 円 (居宅介護 10,508,000 円、同行援護 1,302,000 円)

当期資金収支差額 409,320 円 (居宅介護 28,040 円、同行援護 381,280 円)

(2) ヘルパーステーションもとよし

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	69	48
回	83	86	86	87	123	135	135	133	86	50	119	66	1,189	447

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	2	2	3	2	2	3	2	3	4	3	3	3	32	28
回	34	35	36	37	38	37	39	37	43	41	36	40	453	422

【成果】障害を持った方の心身の特性と能力を踏まえた自立生活支援に努めました。事業所の統合に伴い、利用人数も増え、今まで以上に関係機関との連携を密にし、本人や家族の不安を軽減するための助言やサービスを提供しました。今後も総合的に支援できる体制づくりに力を入れていきます。

(介護報酬目標額達成率・居宅介護 106.7% 前年度 107.5%)

(介護報酬目標額達成率・同行援護 100.0% 前年度 108.7%)

【課題】職員の平均年齢の上昇に伴い、若手を含むヘルパー育成を含めた提供体制の再構築が課題となっています。また、利用者のほとんどが独居世帯であり、地域や支援センターなどの関係機関との連携が不可欠です。

【今後の取組】住み慣れた地域で安心して生活できるように、一人ひとりのニーズに合わせた迅速かつ丁寧な質の高いサービス提供が図れるように関係機関との連携を密にし、職員間の意思疎通を徹底して体制の構築に努めます。

【決算】事業活動収入 8,200,410 円 (居宅介護 5,589,490 円、同行援護 2,610,920 円)

事業活動支出 7,850,000 円 (居宅介護 5,240,000 円、同行援護 2,610,000 円)

当期資金収支差額 350,410 円 (居宅介護 349,490 円、同行援護 920 円)

10. 地域生活支援事業

【概要】障害者総合支援法に基づく気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害をもつ方への移動入浴車による入浴サービスを提供しました。

(1) 訪問入浴サービスもとよし

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	14	12
回	9	9	5	9	8	9	9	11	10	8	8	6	101	100

【成果】継続利用は唐桑地区の方1名ですが、状態観察を密にコミュニケーションをとりながら喜びあるサービス提供に努めました。また、ヘルパーのつながりにより転居までの短期間であるも利用となるケースがあり、他事業所の入浴業務に同行させていただき、援助方法を確認するなど思いに寄り添い対応しました。

(障害福祉サービス等事業収入目標額達成率 98.0% 前年度 102.5%)

【課題】現在の継続利用は1名のみであり、利用ニーズの把握を課題としています。

新型コロナウイルス感染症等により看護師数名が同時に休み対応できなくなることがありました。同様の場合の対策、事業所のBCP作成が必要です。

【今後の取組】障害に関する各種研修会等に積極的に参加し、職員個々の資質向上に努めながらより良いサービス提供に努めます。また、他職種との連携を密にし、チームケア向上に取り組んでいきます。

【決算】事業活動収入 1,262,500 円 事業活動支出 1,262,500 円 当期資金収支差額 0 円

11. 在宅福祉事業

事業名	内容
移送サービス事業	【概要】 家庭外への移動困難者について、リフト付ワゴン車の運行による移送や車両貸出を行うことで、社会生活への参加促進を図りました。 【実績】 移送利用：0件 貸出利用：24件 【成果】 通院や転院のため、定期的に利用される方もおり、費用面で助かっているという声をいただいています。 【課題】 移送利用の対応ができる体制を検討する必要があります。 【今後の取組】 当面は貸出を中心としながら、社協だより等で事業の周知を図ります。 【決算】 111,309 円
在宅ふれあい型交流事業	【概要】 虚弱な一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯との交流を対象にふれあい型の食事サービス・お茶のみ会等へ補助金を交付。食事サービスについては、地域や季節によって、配食と会食の形態があります。 【実績】 申請団体：8団体 利用者延べ：585人 【成果】 各団体、感染対策を行いながら事業を実施しています。配食を通してボランティア団体と地域高齢者等が交流する機会や見守りの一助となっています。 【課題】 現在、地区社協圏域を対象とした事業実施がほとんどとなっていますが、ますます高齢化が進む中で、自治会単位での事業実施の推進が必要と思われます。 【今後の取組】 自治会等の小さな範囲での活動が増えるよう、日ごろの地域住民同士の繋がりが大切になることを伝えながら、事業の実施を呼びかけます。 【決算】 422,544 円
安否確認訪問サービス事業	【概要】 大船渡ヤクルト販売(株)さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする世帯に対し、乳酸菌飲料の週3回（月・水・金）配達を通じての声掛け訪問による安否確認を実施しました。 【実績】 利用者：13人 利用延本数：1,103本 【成果】 一人暮らし及び高齢者世帯の方の見守りの一助となっています。また、緊急対応となるケースはありませんでした。 【課題】 利用者不在時の対応や社協への連絡については、以前よりもタイムラグなく行われていますが、リアルタイムに連絡が入らないこともあります。また、新型コロナウイルスに感染した利用者の情報が入らず、知らずに訪問した業者から苦情がありました。 【今後の取組】 業者との連絡を密に取り合い、不在時等の対応について改善を目指します。また、利用者の新型コロナウイルス感染症に関しては、本人及びケアマネ事業所等へ連絡し、情報提供をしてもらえるよう協力を依頼します。 【決算】 34,036 円

介護機器・福祉用具貸出事業	【概要】 所有する福祉用具の貸出により、要介護にある方の在宅生活を支援するとともに、ボランティア活動や福祉教育活動の積極的な企画や参加を促進しました。 【実績】 延べ貸出数 気仙沼 車いす 18台 ベッド 0台 本吉 車いす 24台 ベッド 1台 【成果】 住み慣れた地域で、在宅生活を送ることができています。 【課題】 貸出用具として介護用電動・手動ベッド、ベッドマッドレスとありますが、本吉支所以外は東日本大震災で物品の一切を流失しており、車椅子以外の上記物品については、現在は貸し出せる状態にありません。 【今後の取組】 今後も継続して要介護にある方の在宅生活を支援するとともに、介護機器・福祉用具を必要とするボランティア活動や福祉教育学習のサポートを行います。 【決算】 10,866 円
生活支援型食事サービス	【概要】 見守りを必要とする虚弱な高齢者の単身世帯等へ定期的に食事を提供することで、安否確認を行ってます。毎週火・木・金曜日のうち週1～2回の利用ができるものとし、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力を得て実施しています。 【実績】 気仙沼地域 利用者：13人 配食数： 607食 唐桑地域 " : 2人 " : 103食 本吉地域 " : 18人 " : 451食 " 計33人 " 計 1,161食 【成果】 緊急対応となるケースはありませんでした。新規申請があった際に、ケア会議が実施されることでサービスの適切な利用に繋がっています。 【課題】 今後の事業実施について、社協内で検討する他、委託元である気仙沼市の本事業の在り方や考え方等を示してもらうことが必要です。 【今後の取組】 社協内でのワーキンググループ等で事業実施について検討すると共に、市担当課と定期的に話し合いの場を設けます。 【決算】 2,467,485 円
生きがい活動支援通所事業 （元気老人デイサービス事業） 気仙沼・唐桑地区	【概要】 おおむね65歳以上の高齢者を対象に、市民福祉センター、保健福祉センター及び地域の福祉施設、振興会館、公民館等において、生きがい活動援助員による通所サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図りました。 【実績】 延利用回数 : 362回 延利用者数 : 6,149人 【成果】 市民福祉センターやすらぎを拠点に、公民館等も利用しながら、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、各種集いや介護予防事業を実施しました。今年度は全ての集いが活動を行っておりますが、会員数の多い健康麻雀については、雀卓に飛沫防止シートの設置や開始前後の

本吉地区	牌等の消毒等を徹底し、隔月での活動になってしまいましたが、4つの班に分け1回20名程度で活動しております。 各種集い講師、代表者等と話し合いを持ち、大きな事業である「いきいき福寿草まつり」を講師・会員の皆様の協力を得ながら、初めて場所を移して開催できたことが張り合いと自信につながりました。 集いの会場変更による感染対策への配慮として、利用者の体調不良等に対応できるよう職員を配置して安全対策に努めました。 【課題】一定期間会場が使用できないことや、会場の変更によっては利用者の負担もみられることから、会場確保等相互の調整が課題です。 【今後の取組】健康麻雀の集いについては、飛沫防止シートの設置と牌等の消毒については引き続き行い、班編成を4班から2班にし1か月に1回活動できるようにしていきたい。介護予防事業においても、人数制限の枠を外し、電話による事前予約を行いながら実施していきたい。「いきいき福寿草まつり」だけではなく、作品展示会等発表の機会も増やしていければと考えております。 【実績】 延利用回数 : 224回 延利用者数 : 2,320人 【成果】利用者の希望や意向を確認しながら進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら事業を実施しました。家庭においては外出や身体を動かす機会が少ないため、ストレッチ体操やレクリエーション、ゲームなどで楽しみながら動く機会を設定し、理学療法士の協力にて家庭でも実践できる体操等を指導いただき、継続できるよう支援しました。地域での生活が安心安全に過ごせるよう、駐在所職員や交通指導隊の協力により講話や寸劇にて注意喚起を促しました。 本吉地域内においては、高血圧や高血糖の方が多いため、市の「高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施」の対象となり、地域を選定し、健康寿命の延伸を目的として、市の保健師、栄養士、歯科衛生士の協力により生活状況調査を実施し、食生活の振り返りの他、口腔機能低下や運動機能低下防止などフレイル予防に関する具体的指導により、健康に関する啓発と意識づけを行うことができました。 市内視察ではかなえ大橋を渡り大島へ行き復興状況を眺め、災害対策を考える機会となりました。 【課題】新型コロナウイルス感染症を懸念され、地域行事や活動を中止しているところはキャンセルが続いておりフレイル等が心配されます。 また、加齢や老人クラブの解散により参加できなくなっている方もいることから、新たな仲間づくりや交流の場が必要です。 【今後の取組】殆どの地域ではこの事業が唯一交流の場であり、情報源となっています。徐々に地域行事も開催される状況となっていることから、これまで要望されていた通常開所について、地域の方々と検討し進
-------------	---

	めていきます。 関係機関の講話等を継続し健康寿命の延伸を図るとともに、趣味活動のプログラムも再検討し、新たな仲間づくりや交流の機会を支援してまいります。 【決算】 20,232,675 円
家族介護教室事業	【概要】 高齢者を介護している家族等に対し、介護者が求めるテーマに基づく家族介護教室の開催により要介護高齢者の状態の維持・改善を図るとともに、在宅生活の質の向上を図ります。 【実績】 1回目 11月18日（金）「服薬について」 参加者 8名 2回目 3月15日（水）「介護のポイント」 参加者10名 【成果】 包括支援センターと共催にて行い、講師からの講話の他、参加者同士で意見交換ができたことで、より参加された方々にとって役立つ内容で開催することができました。 【課題】 講話だけでの説明の他、参加者からの疑問に答える際に実際の状況などがイメージできるようにベットなどの福祉用具も設置しておくべきであった。 【今後の取組】 参加者に協力頂いたアンケート内容をもとに関心の高いテーマを取り上げ、参加される方々にとって有意義な教室になるよう努めていき、多くの方に参加して貰えるよう周知方法を検討していきます。 【決算】 34,831 円
外出支援サービス事業	【概要】 リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と在宅福祉サービスを提供する場所及び医療機関等との間の移動を支援しました。 【実績】 延利用者数 6人（実利用者1人） 延利用回数 14回（自宅から目的地までの片道を1回で集計） 【成果】 リフト付きの車両での送迎が必要な方の定期的な通院時の移動支援の一助を担うことができました。 【課題】 市との協議により、現状登録されている利用者1名への対応を継続することになっていますが、社協車両を使用して対応することで、時間が掛り増している状況にあります。 【今後の取組】 市と確認を取り合いながら、関係する法令を遵守し業務を遂行していきます。 【決算】 114,200 円

生活支援体制整備事業	【概要】 互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実・強化を図ることを目的に活動しました。地区社協圏域ごとに担当職員（地域支え合い推進員）を専任配置し、支え合いの地域づくりに取り組みました。 【実績】 ・第1層地域支え合い推進員（兼任1名）活動件数 228件 ・第2層地域支え合い推進員（専任9名）活動件数 2,774件 ・社協だよりによる地域活動「お宝」の発信 ・地域支え合い推進員連絡会議開催 10回 ・第1層地域支え合い推進員定例会参加 10回 ・地域支え合い推進員地域支え合い協力員連絡会議 1回 【成果】 専任配置した9名の地域支え合い推進員が地域に出向き、キーパーソンや集い等への訪問・事業説明を行いながら、地域活動の状況把握に努めています。また、コロナ禍で活動自粛の地区が多いものの、新しい取り組みや差活動再開へのアドバイスなど、次に繋がるよう働き掛けを行いました。今年度からフレイル予防サポーターとして講座等へも随時協力しながら、様々な機会を捉え地域との繋がりづくりに努めました。地域支え合い協力員は、令和2年度末から変わらず16人体制になっています。 【課題】 コロナ禍で、地域活動や状況も様々な中、支え合いの活動の維持や再開・提案の仕方等、その地域に合わせた関わりを進める上で、職員のスキルアップが必要です。また、今年度新規のモデル地区社協指定には至りませんでした。 【今後の取組】 広報紙の発行や研修会の開催とともに、地域課題の解決に向けた働き掛けを行い、住民主体の意識の醸成や、活動が生まれるよう地域に寄り添った支援を行います。また、住民懇談会の開催に向けた働き掛けも行います。 【決算】 29,118,774円
高齢者交流事業 （ノルディックウォーキング教室）	【概要】 コロナ禍で一層外出機会が減少している中、運動不足に陥りやすい高齢者を対象に、ノルディックウォーキングによる全身運動効果のあるウォーキング機会を提供し、健康で自立した生活を送るためのきっかけづくりと仲間づくりを目的に実施しました。 【実績】 参加者15名 【成果】 普段から意識的にウォーキングされている方が多く参加されましたが、本事業をきっかけに健康づくりのために散歩などを続けている方もいるとのことで、一定の効果はあったのではと感じています。 【課題】 全市的に高齢者の健康維持や社会参加へのきっかけづくりが必要です。 【今後の取組】 高齢者も気軽に始められる運動メニューとして、今回繋がりを得た講師インストラクターの情報をあらゆる機会に発信します。

12. 指定介護保険事業

(1) 一景島在宅介護支援センター

【概要】利用者の立場に立ち一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適切なサービス提供に努めました。また、加算取得に当たっても法令遵守に基づき職員間で相互牽制・チェックにより介護報酬の適正請求を行いました。

【事業実績】

月		事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	7	13	20	31	21	13	14	3	82	102
5	人	0	8	10	18	30	23	13	12	3	81	99
6	人	0	8	8	16	31	21	14	13	3	82	98
7	人	0	8	8	16	29	20	13	14	3	79	95
8	人	0	7	9	16	29	21	12	11	3	76	92
9	人	0	7	9	16	27	22	13	8	3	73	89
10	人	0	7	9	16	25	23	13	10	3	74	90
11	人	0	7	9	16	26	22	13	11	4	76	92
12	人	0	7	10	17	25	20	13	11	4	73	90
1	人	0	6	12	18	24	19	12	11	4	70	88
2	人	0	6	12	18	23	17	14	10	4	68	86
3	人	0	5	12	17	21	12	14	8	4	59	76
計	人	0	83	121	204	321	241	157	133	41	893	1,097
前年度	人	6	118	216	340	399	402	188	169	40	1,198	1,538

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
令和4年8月4日	令和4年度居宅介護支援専門員研修会（オンライン）	一景島在介事務所
9月6, 10, 17, 27日	令和4年度主任介護支援専門員研修（オンライン）	本所ミーティングルーム他
10月28日	令和4年度福祉施設等防災研修会（オンライン）	一景島在介事務所
11月24日	令和4年度福祉用具展示会にて福祉用具の研修	(株) コンホート・ケア事務所
12月2日	令和4年度保健・医療・福祉等の支援者向け「精神疾患を学ぶ」研修会	気仙沼保健所2階第会議室
12月13日	令和4年度「居宅介護支援事業所共同事例検討会・研修会」（オンライン）	一景島在介事務所
12月14日	令和4年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修（オンライン）	一景島在介事務所
12月20日	令和4年度介護支援専門員地区連絡会（オンライン）	一景島在介事務所
12月22日	令和4年度感染症予防普及啓発事業（オンライン）	一景島在介事務所
令和5年1月19日	介護保険の住宅改修に関する説明会	ワンテン庁舎 大ホール
1月20日	令和4年度第2回気仙沼市権利擁護研修会（オンライン）	一景島在介事務所
その他	※定期的（週1回）に全職員による会議を開催	一景島在介事務所

【成果】旧市内のみならず唐桑地区のご利用者も可能な限り受入れています。また、ご利用者の急変等、突発的な対応に取り組みました。また、独居世帯や高齢世帯の増加もあり困難事例が増加傾向にあり各関係機関やサービス事業者との連携を密に図り、丁寧な対応に努めました。（介護報酬目標達成度 89.3% 前年度：87.9%）

【課題】家庭での介護力が年々低下傾向で、入院した場合に在宅での介護が従来同様行えず、施設入所となる状況や要介護度が高くなるにつれて施設入所の要望が高まり、利用期間も短く収益に繋がり難い状況がみられています。また、減員に伴い職員体制が変わることでこれまで同様の加算が算定出来ないことにより、事業収入の減収は避けられない状況となります。

【今後の取組】コロナ禍において、オンライン形式の会議や研修の機会を捉え、より専門的な知識の習得や上位資格の取得を図りながら各種サービス基準の把握、法令順守に努め、適正な対応ができるよう職員の更なる資質の向上と自己研鑽に努めます。

【決算】事業活動による収入 16,175,640円 事業活動による支出 13,373,995円
 その他の活動による支出 4,129,040円
 （運用基金積立金への繰出3,500,000円含む）
 当期資金収支差額 △1,327,395円
 （前期末支払資金残高から充当）

(2) 津谷居宅介護支援事業所

【概要】常に利用者の立場に立ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える自立支援に向けたケアマネジメントの視点を意識し、関係機関と連携しながらサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合 計
4	人	12	22	34	44	25	23	23	127	161
5	人	11	21	32	48	26	21	26	131	163
6	人	11	22	33	47	27	21	25	132	165
7	人	13	23	36	48	27	19	23	131	167
8	人	13	21	34	51	31	20	22	137	171
9	人	12	23	35	50	33	20	23	138	173
10	人	11	22	33	54	36	19	23	143	176
11	人	12	21	33	55	35	18	24	145	178
12	人	12	21	33	47	37	17	23	134	167
1	人	11	17	28	45	39	17	21	131	159
2	人	12	20	32	42	40	16	25	131	163
3	人	12	20	32	44	37	17	26	131	163
計	人	142	253	395	575	393	228	284	1,611	2,006
前年度	人	132	277	409	529	265	287	203	1,402	1,811

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年4月20日	ベネッセオンラインセミナー～虐待防止の取り組み～	津谷居宅相談室
5/11～6/6(8日間)	令和4年度主任介護支援専門員更新研修(オンライン)	津谷居宅相談室
6/16～7/8(8日間)	令和4年度介護支援専門員専門Ⅰ研修(オンライン)	津谷居宅相談室
6月23日	職場におけるハラスメント防止対策について	地域福祉活動室
7月26日	ベネッセオンラインセミナー～相談援助のポイント～	事業所内相談室
7月29日	令和4年度キャラバンメイトスキルアップ研修(オンライン)	地域福祉活動室
9/6～10/27(12日間)	令和4年度主任介護支援専門員研修(オンライン、10月4日～)	宮城県庁、交際センター等
10月29日	災害ボランティア講座	気仙沼市民福祉センターやすらぎ
11月15日	気仙沼社協虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	本所第二会議室
11月17日	地域参加型事例発表会(zoom)	地域福祉活動室
12月6日	メンタルヘルス研修会	地域福祉活動室
12月13日	居宅介護支援専門員地区連絡会(zoom)	津谷居宅相談室
12月22日	気仙沼保健所管内感染症予防セミナー	津谷居宅相談室
1月20日	気仙沼市権利擁護研修会(zoom)	津谷居宅相談室
2月22日	介護事業者の為の業務継続計画(BCP)作成セミナー	地域福祉活動室
毎月1回	ケアマネ定例会	地域福祉活動室
毎週1回	事例検討、伝達会議	津谷居宅相談室
毎月1回	職員会議	津谷居宅相談室
毎月1回	本吉支所定例会議	地域福祉活動室
年1回(2月1日)	町内他法人合同事例検討会	地域福祉活動室

【成果】若い職員の入局により常勤5名体制となったことから新規利用者の受け入れがスムーズにできるようになりました。上半期の実績値では要介護3以上の割合が42%程度でしたが、ガン末期で早急にサービス調整が必要な利用者が多かった上半期に比べ下半期は37%程度となり要介護から要支援へと介護度が低くなる方の割合が多くなりました。(介護報酬目標達成度 101.9% 前年度 99.6%)

【課題】高齢者世帯、認知症や難病で独居の方、近隣との関わりが希薄な方、緊急時の対応が難しいケース等あり対応に苦慮しました。包括と連携し支援するも連絡調整等、対応にかなりの時間を要するケースが多く、業務をこなしていくには土日の出勤が必要にもなっており、心身の負担が大きい状況です。

【今後の取組】令和4年度の運営指導において指摘事項があったことから、職員間で情報共有と確認を密に行い、関連事業所への提言を工夫し、適切に業務を進めていけるよう努めます。今後も研修会に参加し自己研鑽に励み、法制度に精通していけるよう質の向上を図ります。今後も利用者や家族が笑顔で過ごせるよう、しっかり向き合い支援していきます。

【決算】事業活動による収入 31,289,290円 事業活動による支出 22,351,638円
 その他の活動による支出 9,167,840円
 (運用基金積立金への操出し8,000,000円含む)
 当期資金収支差額 △230,188円
 (前期末支払資金残高から充当)

(3) 訪問介護ステーションからくわ

【概要】利用者の意思及び人格を尊重し、常に相手の立場に立ち、質の高いサービスを提供するように努めました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計	
4	人	0	2	9	11	5	5	2	6	1	19	30
	回	0	8	57	65	29	63	45	73	60	270	335
5	人	0	2	6	8	5	3	2	6	2	18	26
	回	0	10	37	47	33	53	57	87	64	294	341
6	人	0	3	5	8	6	2	3	5	2	18	26
	回	0	12	32	44	40	46	58	68	68	290	324
7	人	0	3	5	8	8	5	2	5	2	22	30
	回	0	14	29	43	51	116	56	69	66	358	401
8	人	0	3	3	6	6	6	2	4	1	19	25
	回	0	11	23	34	44	88	48	68	62	310	344
9	人	0	3	4	7	6	5	2	2	2	17	24
	回	0	11	24	35	41	95	57	54	67	314	349
10	人	0	3	3	6	5	5	3	3	2	18	24
	回	0	14	27	41	37	91	66	72	66	332	373
11	人	0	3	3	6	6	4	3	5	2	20	26
	回	0	11	21	32	42	82	55	130	145	454	486
12	人	0	2	4	6	6	5	3	4	3	21	27
	回	0	9	30	39	56	59	82	131	152	480	519
1	人	0	2	4	6	5	4	3	4	4	20	26
	回	0	8	29	37	36	53	76	131	86	382	419
2	人	0	1	4	5	7	4	6	4	2	23	28
	回	0	4	27	31	34	75	161	122	36	428	459
3	人	0	2	6	8	6	3	4	4	3	20	28
	回	0	9	41	50	45	61	96	133	48	383	433
計	人	0	29	56	85	71	51	35	52	26	235	320
	回	0	121	377	498	488	882	857	1,138	920	4,285	4,783
前年度	人	26	88	10	124	62	106	38	49	26	281	405
	回	101	550	32	683	346	1,385	979	1,150	900	4,760	5,443

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年9月28日	令和4年度介護サービス事業者集団指導 スタッフ会議（月1回）支所管理者会議（月1回）	社協唐桑支所（HP資料） 社協唐桑支所

【成果】介護計画に基づき、利用者及び家族の意向に沿ったサービス提供に取り組みながら、新型コロナウイルス感染予防対策、事故防止対策を徹底し、業務を遂行しました。
（介護報酬目標達成度 98.0% 前年度 85.7%）

【課題】新規を受け入れても家族の介護負担が大きいため、施設入所になるケースが多く、安定確保が難しい状況になっています。また、ヘルパーの高齢化や人材確保難が深刻化しており、事業継続の不安が大きいのが現状です。

【今後の取組】地域や多職種と連携を図り、安心して在宅生活が継続できるように支援します。また、ヘルパーとしての基本の徹底とケアの質の向上に努め、収益の安定を図ります。

【決算】事業活動による収入 17,278,475円 事業活動による支出 15,057,817円
その他の活動による支出 282,000円
当期資金収支差額 1,938,658円

(4) ヘルパーステーションもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、利用者一人ひとりのニーズに応じた個別ケア計画に基づき、関係機関との連携の下、きめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	1	2	13	16	13	19	4	11	9	56	72
	回	1	12	101	114	106	264	57	257	198	882	996
5	人	1	2	13	16	15	18	4	10	8	55	71
	回	2	12	104	118	115	256	61	280	186	898	1,016
6	人	1	1	13	15	18	19	4	12	9	62	77
	回	1	5	94	100	130	232	60	299	188	909	1,009
7	人	0	2	13	15	21	17	3	12	10	63	78
	回	0	6	85	91	160	228	64	308	246	1,006	1,097
8	人	0	1	12	13	22	15	4	12	10	63	76
	回	0	4	91	95	172	239	60	317	224	1,012	1,107
9	人	0	1	13	14	23	16	4	11	10	64	78
	回	0	5	82	87	162	238	58	217	199	874	961
10	人	0	2	13	15	22	17	3	10	8	60	75
	回	0	5	87	92	164	249	48	209	165	835	927
11	人	0	2	12	14	22	17	2	8	9	58	72
	回	0	11	79	90	161	243	9	145	206	764	854
12	人	0	3	14	17	19	17	4	9	8	57	74
	回	0	14	79	93	160	216	61	180	201	818	911
1	人	0	3	13	16	19	16	4	8	9	56	72
	回	0	15	85	100	149	200	118	178	158	803	903
2	人	0	4	14	18	19	14	4	7	6	50	68
	回	0	25	86	111	138	151	107	161	111	668	779
3	人	0	5	13	18	19	14	4	7	6	50	68
	回	0	26	80	106	155	170	79	168	134	706	812
計	人	3	28	156	187	232	199	44	117	102	694	881
	回	4	140	1053	1197	1772	2686	782	2719	2216	10175	11372
前年度	人	5	24	92	121	134	105	38	108	65	450	571
	回	21	130	524	675	1300	1143	741	2977	1738	7899	8574

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年6月23日	ハラスメント研修 (web研修)	本吉支所、地域福祉活動室
9月27日	令和4年度介護保険施設等集団指導 (資料にての実施)	宮城県長寿政策課ホームページ
11月14日	接遇について(内部研修)	ヘルパーステーション事務所内
11月15日	神経難病の生活について (web研修)	本吉支所、地域福祉活動室
12月6日	メンタルヘルスセミナー 睡眠について	本吉支所、地域福祉活動室
12月16日	職員スキルアップ研修会 虐待防止について (zoom研修)	本吉支所、地域福祉活動室
令和5年1月26日	介護サービス事業所集団指導 感染対策について (zoom研修)	本吉支所、地域福祉活動室
3月7日	高次脳機能障害研修 自動車運転について (zoom研修)	本吉支所、地域福祉活動室
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修 (訪問入浴合同で毎月開催)	

【成果】今年度4月に気仙沼ホームヘルプ事業所より引き継いだことにより、利用者が増え訪問回数も大幅に増えています。受入時には事業所間で情報共有を図り、要望に沿ったサービスを提供することができました。安心・安全な質の高い確かな知識と介護技術を提供するため、同行訪問の機会を増やし職員も不安なく訪問できる体制を整えることができました。研修会へも積極的に参加し、スキルアップを図る事ができました。
(介護報酬目標達成度 141.4% 前年度 100.7%)

【課題】統合が短期間であったため同行訪問が思うように進まず、利用者も職員も不安な状態でサービスを継続する期間もありました。職員体制も再雇用職員が多く、今後の事業継続においても若手職員の雇用が必要不可欠となっています。人員確保とともに技術継承も併せて実施できる体制を早急に整備し、事業の安定運営を図る必要があります。

【今後の取組】今後もニーズに合わせた確かな知識と質の高い介護サービスを提供できるよう、研修会に積極的に参加し、情報共有を密にしたチームケアができるよう、全職員で連携を図りながら取り組んでまいります。また、職員の意識を高め、新規利用者獲得に向けて周知活動を行い安定した経営ができるよう努めます。

【決算】事業活動による収入 48,542,936円 事業活動による支出 34,295,561円
その他の活動による支出 10,958,080円
当期資金収支差額 3,649,295円

(5) 訪問入浴サービスもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者や家族の意向を尊重し、関係機関と連携して、利用者が満足できるよう適切なサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	0	1	6	8	7	22	22
	回	0	0	0	0	4	21	37	38	100	100
5	人	0	0	0	0	1	5	8	8	22	22
	回	0	0	0	0	4	25	43	52	124	124
6	人	0	0	0	0	1	5	8	8	22	22
	回	0	0	0	0	4	24	46	45	119	119
7	人	0	0	0	0	1	3	7	13	24	24
	回	0	0	0	0	4	15	35	61	115	115
8	人	0	0	0	0	1	3	9	13	26	26
	回	0	0	0	0	5	18	37	70	130	130
9	人	0	0	0	0	1	3	9	12	25	25
	回	0	0	0	0	4	16	33	57	110	110
10	人	0	0	0	0	1	2	7	11	21	21
	回	0	0	0	0	4	3	27	50	84	84
11	人	0	0	0	0	1	2	8	11	22	22
	回	0	0	0	0	5	6	37	44	92	92
12	人	0	0	0	0	1	4	8	9	22	22
	回	0	0	0	0	4	6	34	47	91	91
1	人	0	0	0	0	1	3	9	9	22	22
	回	0	0	0	0	4	11	32	28	75	75
2	人	0	0	0	0	1	3	14	6	24	24
	回	0	0	0	0	3	11	48	24	86	86
3	人	0	0	0	0	1	3	13	7	24	24
	回	0	0	0	0	4	14	56	32	106	106
計	人	0	0	0	0	12	42	108	114	276	276
	回	0	0	0	0	49	170	465	548	1,232	1,232
前年度	人	0	13	16	3	30	70	119	73	295	311
	回	0	53	61	12	146	366	515	435	1,474	1,535

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年6月23日	ハラスメント研修 (web研修)	本吉支所、地域福祉活動室
9月27日	令和4年度介護保険施設等集団指導 (資料にての実施)	宮城県長寿政策課ホームページ
11月14日	接遇について (内部研修)	ヘルプ・ステーション事務所内
11月15日	神経難病の生活について (web研修)	本吉支所、地域福祉活動室
12月 6日	メンタルヘルスセミナー 睡眠について	本吉支所、地域福祉活動室
12月16日	職員スキルアップ研修会 虐待防止について (zoom研修)	本吉支所、地域福祉活動室
令和5年1月26日	介護サービス事業所集団指導 感染対策など (web研修)	本吉支所、地域福祉活動室
3月 7日	高次脳機能障害研修 自動車運転について	本吉支所、地域福祉活動室
	事業所内会議：職員会議、伝達研修 (訪問介護合同で毎月開催)	

【成果】年間を通し終末期の方や急な体調変化のある方等、新規の依頼等に迅速に対応しました。また、コロナ感染の影響が大きく休止する通所施設があり、その間数名がご利用となりました。事業所内でも濃厚接触や感染により職員が休むこともありましたが、曜日や時間を調整し事業の継続を図りました。医療スタッフや他事業所との連携、職員間での情報共有を丁寧に行い、心地良い時間を過ごしていただけるようケアの継続に努めました。

(介護報酬目標達成度 83.7% 前年度 100.7%)

【課題】毎月新規ご依頼がありましたが、9月以降週2回利用の方や新規の方々の逝去も多く期間の利用件数が伸びず例年に比べ稼働率が減少しました。

【今後の取組】職員間で事業の推進対策の検討を行い、随時、各居宅介護支援事業所、総合患者支援センター、調剤薬局へパンフレットの配布等周知活動を行いました。今後も職員全体が広告塔になり、新規利用者獲得を目指します。また、外部研修への参加や内部研修の設定により個々の介護技術の習得とチームケア向上を図り、他事業所との連携を密に行い、最期まで安心して入浴ができる事業所としての地域貢献にも努めていきます。

【決算】事業活動による収入 18,492,131円 事業活動による支出 19,504,299円
 その他の活動による収入 3,000,000円 その他の活動による支出 852,000円
 (運用基金積立金から繰入3,000,000円含む) 当期資金収支差額 1,135,832円

(6) 燦さん館デイサービスセンター

【概要】要介護者・要支援者に対し尊厳ある自立支援と、家族の精神的・身体的負担の軽減に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	8	14	22	23	15	9	11	2	60	82
	回	38	117	155	198	140	80	94	10	522	677
5	人	9	12	21	24	16	8	15	2	65	86
	回	50	100	150	210	156	69	106	7	548	698
6	人	8	13	21	26	14	8	12	0	60	81
	回	49	103	152	246	147	71	83	0	547	699
7	人	8	12	20	27	14	9	14	0	64	84
	回	45	96	141	257	143	71	104	0	575	716
8	人	8	12	20	31	15	9	12	0	67	87
	回	48	96	144	274	173	81	108	0	636	780
9	人	8	12	20	30	15	10	10	0	65	85
	回	49	99	148	280	163	85	86	0	614	762
10	人	8	12	20	29	16	9	10	0	64	84
	回	46	95	141	274	175	80	88	0	617	758
11	人	7	12	19	29	15	9	10	2	65	84
	回	41	93	134	283	146	66	87	20	602	736
12	人	7	11	18	33	13	8	11	3	68	86
	回	45	89	134	284	125	63	93	36	601	735
1	人	7	12	19	30	15	7	11	3	66	85
	回	31	88	119	241	129	55	89	30	544	663
2	人	5	11	16	30	15	8	11	2	66	82
	回	30	78	108	246	151	54	78	24	553	661
3	人	5	11	16	27	15	11	9	2	64	80
	回	35	94	129	245	162	83	69	21	580	709
計	人	88	144	232	339	178	105	136	16	774	1,006
	回	507	1,148	1,655	3,038	1,810	858	1,085	148	6,939	8,594
前年度	人	109	163	272	291	264	82	139	26	802	1,074
	回	524	1,315	1,839	2,388	2,452	638	1,193	188	6,859	8,698

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年5月31日	新たな津波浸水想定に関する説明会	気仙沼中央公民館
6月21日	職 員 会 議「職場におけるハラスメント」とは	デイサービスフロア
8月4日	安全運転管理者・副安全運転管理者講習	はまなすの館
8月23日	高齢者の虐待防止と権利擁護	宮城県介護研修センター
10月25日	令和4年度 気仙沼市唐桑町 防火管理者協会事業所指定訓練	気仙沼消防署唐桑出張所
11月26日	地域包括ケア住民フォーラム	気仙沼アーバン
12月22日	気仙沼・南三陸介護サービス法人連絡協議会	やすらぎ
令和5年2月22日	介護事業者のための業務継続計画（BCP）作成セミナー通所系	オンラインセミナー
随時	本所事故防止対策委員会・支所管理者会議・職員会議	

【成果】当事業所から新型コロナウイルス感染陽性者（利用者・職員・富士産業職員）が出ましたが閉館することなく業務を遂行しました。
（介護報酬目標達成度 100.9% 前年度 91.0%）

【課題】コロナ等で利用を控える利用者が多く、依然ショートステイ、入所、入院、体調不良、逝去が後を絶たず新規、追加利用ではカバーできない状態となっています。

【今後の取組】当事業所に「事故防止対策委員会」を設置しました。設置後、定期的に事業所内で発生した事故やヒヤリハットについて振り返りを行います。また、介護事故が発生した時の「初動訓練」を職員会議等で全職員にて実施していきます。引き続き経費の削減、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、事業運営に取り組みます。

【決算】事業活動による収入 66,659,963円

事業活動による支出 70,889,220円
施設整備等による支出 1,121,596円
その他の活動による支出 1,310,040円
当期資金収支差額 △6,660,893円

(7) やすらぎデイサービスセンター

【概要】いつまでもご自宅での生活を続けられるように、ご利用者の身体機能維持及び生活の質の向上を目指しながら介護サービスの提供に努めました。職員一人ひとりが笑顔で迎え、ご利用者が他者との交流を通じて生きがいを持ちながら生活を送り、介護者家族には身体的・精神的な介護負担の軽減が図られるよう職員全員で丁寧な介護業務に取り組みました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計	
4	人	1	3	4	8	21	7	10	8	1	47	55
	回	2	11	19	32	180	54	80	85	26	425	457
5	人	1	3	3	7	20	7	13	8	1	49	56
	回	3	10	20	33	168	64	118	68	26	444	477
6	人	1	2	3	6	19	7	15	8	1	50	56
	回	5	10	15	30	172	64	121	67	26	450	480
7	人	1	2	3	6	19	8	15	6	1	49	55
	回	4	8	12	24	159	64	116	47	25	411	435
8	人	1	2	2	5	18	9	14	6	1	48	53
	回	4	8	9	21	167	75	122	57	27	448	469
9	人	1	2	2	5	19	8	15	6	2	50	55
	回	5	9	9	23	175	69	113	53	27	437	460
10	人	1	2	2	5	17	7	14	6	2	46	51
	回	4	12	8	24	158	61	110	51	29	409	433
11	人	1	2	2	5	17	7	12	5	2	43	48
	回	4	13	6	23	160	60	89	46	27	382	405
12	人	1	2	1	4	20	7	12	6	2	47	51
	回	5	12	5	22	153	56	81	36	27	353	375
1	人	1	2	1	4	19	8	13	4	2	46	50
	回	4	11	6	21	139	59	87	34	28	347	368
2	人	0	1	1	2	22	8	10	5	2	47	49
	回	0	4	8	12	167	57	71	37	28	360	372
3	人	0	1	2	3	20	9	11	4	3	47	50
	回	0	5	14	19	166	74	80	36	32	388	407
計	人	10	24	26	60	231	92	154	72	20	569	629
	回	40	113	131	284	1964	757	1188	617	328	4854	5138
前年度	人	12	37	61	110	240	116	102	84	19	561	671
	回	51	195	331	577	2069	942	834	667	363	4875	5452

【研修・会議参加状況】

月 日	主な会議・研修	開 催 場 所
令和4年4月20日	職員会議	やすらぎデイホール
5月18日	職員会議	やすらぎデイホール
6月15日	職員会議	やすらぎデイホール
8月 4日	安全運転管理者法定講習	はまなすの館
8月18日	職員会議	やすらぎデイホール
9月21日	職員会議	やすらぎデイホール
10月28日	令和4年度 福祉施設等防災研修会	気仙沼市役所 ワンテン
12月22日	気仙沼保健所管内 感染症予防対策セミナー	気仙沼合同庁舎
	その他、職員会議及び伝達研修を実施	やすらぎデイホール

【成果】年度を通じて新規利用者の確保を図りましたが、施設入所の利用者が後を絶たず、前年度と比べ利用人数・収入共に減少しました。また、新型コロナウイルス感染症対策を強化したことにより、消毒薬等の消費がかさみ、物価の高騰も相まって全体の支出も前年度と比べ増加しました。

(介護報酬目標達成度 102.0% 前年度：100.7%)

【課題】利用者の施設入所が相次ぎ、在宅の利用者確保が難しい傾向がみられます。また、施設開設から10年が経過し、設備や備品等の修繕・入替等が課題となっています。

【今後の取組】各居宅事業所への定期訪問を継続し、新規の利用者を確保できるよう努めます。また、サービスの質の向上を常に意識し、ご家族との情報の共有化やカンファレンス等で協議しながら職員の資の向上を図り、安心安全な事業運営と利用者やご家族から選ばれる施設を目指します。

【決算】事業活動による収入 43,982,866円
 その他の活動による収入 2,706,414円
 (運用基金繰入2,000,000円)

事業活動による支出 45,563,494円
 その他の活動による支出 870,240円
 当期資金収支差額 112,546円

(8) 大谷デイサービスセンター

【概要】利用者が住み慣れた地域において残存機能を生かしながら自分らしく自立した日常生活を営むことができるよう、口腔体操やリズム体操等で楽しく機能訓練を行い、趣味活動や手工芸を中心とした活動で共に楽しみ・満足感を得ながら笑顔あふれるサービス提供に努め、併せて介護者の精神的負担の軽減を図りました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	1	10	11	12	10	11	2	1	36	47
	回	4	71	75	127	75	69	22	16	309	384
5	人	1	10	11	12	10	11	2	1	36	47
	回	3	66	69	110	79	69	7	5	270	339
6	人	1	10	11	11	11	11	1	1	35	46
	回	4	73	77	90	85	87	3	15	280	357
7	人	2	10	12	12	12	10	1	1	36	48
	回	8	67	75	102	80	85	3	16	286	361
8	人	3	9	12	11	10	10	2	1	34	46
	回	12	58	70	83	91	80	4	1	259	329
9	人	3	8	11	11	11	9	2	2	35	46
	回	14	60	74	89	99	73	6	33	300	374
10	人	1	7	8	13	14	8	1	2	38	46
	回	4	47	51	92	126	67	3	42	330	381
11	人	2	6	8	14	14	9	1	4	42	50
	回	5	39	44	97	100	74	6	45	322	366
12	人	2	7	9	10	15	8	1	2	36	45
	回	9	41	50	45	112	60	2	17	236	286
1	人	2	7	9	11	15	7	1	2	36	45
	回	8	43	51	64	134	61	4	18	281	332
2	人	2	7	9	9	14	7	2	2	34	43
	回	7	45	52	70	124	59	12	9	274	326
3	人	1	8	9	10	14	7	1	1	33	42
	回	5	56	61	78	139	69	8	1	295	356
計	人	21	99	120	136	150	108	17	20	431	551
	回	83	666	749	1,047	1,244	853	80	218	3,442	4,191
前年度	人	12	109	121	153	87	104	43	0	387	508
	回	74	655	729	1,481	839	651	294	0	3,265	3,994

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年4月26日	職員会議 内部研修（接遇研修）	大谷デイサービスセンター
5月25日	職員会議 内部研修（新型コロナウイルス感染症予防研修）	大谷デイサービスセンター
6月20日	職員会議 介護現場におけるハラスメント対策研修	大谷デイサービスセンター
7月7日	自衛消防訓練	大谷デイサービスセンター
7月20日	第一回運営推進会議（文書での報告・確認）	
7月29日	職員会議 内部研修（認知症研修）	大谷デイサービスセンター
8月27日	職員会議 内部研修（新型コロナウイルス感染症予防研修）	大谷デイサービスセンター
9月24日	職員会議 内部研修（介護現場での事故対応について）	大谷デイサービスセンター
10月25日	職員会議 内部研修（事故防止対策委員会伝達研修）	大谷デイサービスセンター
10月27日	介護サービスの質の向上に関する事業所管理者研修	動画視聴
10月28日	福祉施設等防災研修	気仙沼市役所ワンテン庁舎
11月30日	職員介護内部研修（介護サービスの質の向上研修）	大谷デイサービスセンター
令和5年1月24日	介護サービス事業者集団指導	youtubeで受講
1月27日	職員会議 内部研修（集団指導伝達研修）	大谷デイサービスセンター
2月18日	自衛消防訓練	大谷デイサービスセンター
2月22日	介護事業者のための業務継続計画作成セミナー	社協本吉支所 地域福祉活動室
3月8日	第二回運営推進会議（文書での報告・確認）	
3月22日	職員会議（事故防止対策委員会伝達研修）	大谷デイサービスセンター
	支所定例会議（毎月）事故防止対策委員会（不定期）	

【成果】利用者や介護者からの追加利用等のニーズにも迅速に対応し、年間利用者数を伸ばすことができました。コロナ禍により書面での報告となりましたが運営推進会議での意見等を職員間で共有し、ヒヤリハットや利用者対応等について振り返りと学びを重ね、より良いサービス提供に努めました。毎月のデイサービス便りで季節感のある行事や利用者の活動風景を家族や構成員の方々へ伝えることができました。また備品管理・在庫管理を徹底し経費節減を心がけました。

（介護報酬目標達成度 106.2% 前年度 92.2%）

【課題】利用率80%を目指すも、現在の職員体制では看護師の短時間勤務等シフト編成が難しい状況もあり体制の整備が必要です。また経年による備品の入替え等が続いていることから、収益を上げ運営の安定を図る等の対策が必要です。

【今後の取組】 地域に開かれた事業所となるために、ボランティア団体や地域の活動団体との交流を再開するとともに、地域のニーズに沿ったサービス提供ができるよう、より個別性を重視した活動メニューを工夫します。また情報の発信や地域交流会での周知等により新規利用者獲得を図り、研修等にも積極的に参加し職員の資質向上に努めます。

【決算】 事業活動による収入	39,332,272円	事業活動支出による	39,622,274円
その他の活動による収入	5,862,720円	施設整備等支出	971,800円
		その他の活動支出	324,960円
		当期資金収支差額	4,275,958円

(9) グループホーム・桑の実

【概要】施設理念「入居者様の思いに寄り添い、笑顔溢れる施設にいたします。」を念頭に置き、認知症を持った方でも、住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、また利用者の意向を理解する事に努め、個別ケアを実践しました。コロナ禍により地域の方との交流や、入居者の外出が制限されるなか出来る限りの工夫を行い、入居者のストレス緩和に努め、少しでも認知症の進行を抑えられるように事業運営を行いました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	3	3	3	0	0	9	9
	回	0	0	90	90	90	0	0	270	270
5	人	0	0	3	3	3	0	0	9	9
	回	0	0	93	93	93	0	0	279	279
6	人	0	0	3	3	3	0	0	9	9
	回	0	0	90	90	90	0	0	270	270
7	人	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	93	62	93	31	0	279	279
8	人	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	93	62	93	26	0	274	274
9	人	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	90	60	90	30	0	270	270
10	人	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	93	62	93	3	0	251	251
11	人	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	90	60	90	46	0	286	286
12	人	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	93	62	93	31	0	279	279
1	人	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	93	62	93	31	0	279	279
2	人	0	0	4	2	3	0	0	9	9
	回	0	0	112	56	84	0	0	252	252
3	人	0	0	4	2	3	0	0	9	9
	回	0	0	124	62	93	0	0	279	279
計	人	0	0	38	27	36	7	0	108	108
	回	0	0	1,154	821	1,095	198	0	3,268	3,268
前年度	人	0	0	56	34	16	0	3	109	109
	回	0	0	1,679	1,020	486	0	71	3,256	3,256

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年4月1日	第1回唐桑支所事業管理者会議	燦さん館
4月15日	第2回唐桑支所事業管理者会議	燦さん館
6月13日	第3回唐桑支所事業管理者会議	燦さん館
6月17日	社協事業所管理者会議	社協本所
7月15日	第1回運営推進会議	燦さん館
7月28日	第4回唐桑支所事業管理者会議	燦さん館
9月21日	夜間想定総合避難訓練	桑の実
9月28日	第5回唐桑支所事業管理者会議	燦さん館
10月5日	入居検討委員会	桑の実
10月18日	桑のみの新型コロナウイルス検証会議	社協本所
10月24日	第6回唐桑支所事業管理者会議	燦さん館
10月25日	消防事業所指定訓練	気仙沼消防唐桑出張所
10月26日	社協介護事業所ワーキンググループ会議	社協本所
11月15日	社協事業所虐待防止・身体拘束適正化委員会	社協本所
11月18日	社協介護事業所ワーキンググループ会議	社協本所
11月26日	地域包括ケア住民フォーラム（コロナ研修）	ゲストハウスアーバン
11月30日	第7回唐桑支所事業管理者会議	燦さん館
12月22日	気仙沼保健所管内感染症予防対策セミナー	気仙沼合同庁舎
令和5年1月24日	認知症介護講座	気仙沼市鹿折公民館
1月27日	第8回唐桑支所事業管理者会議	燦さん館
2月28日	第9回唐桑支所事業管理者会議	燦さん館
〃	事故防止対策委員会	社協本所
〃	認知症になっても地域で安心して暮らせるために（介護講座）	鹿折・唐桑地域包括（zoom研修）
3月13日	社協唐桑支所職員会議	燦さん館
	・第2回～第6回推進会議は感染対策により資料郵送にて代替開催 ・ケア会議（毎月1回）※個別ケア会議・認知症研修等 ・スタッフ会議（毎月1回）※個別ケア会議・感染症対策等	

【成果】入退居を効率よく行えた事と、健康管理や安全に生活できるよう環境を整えた事で、怪我による入院日数を最小限に抑えることで空室日数が減少し、利用率を上げることが出来ました。

(令和3年度利用率99.1%→令和4年度利用率99.5%、収入目標達成度100.9%)

【課題】今後も続く新型コロナウイルス感染症へ備えるために、職員の意識や知識をより向上させる必要があります。また、入退居の作業を更に効率よく行うことや、経営を圧迫する水道光熱費や物価の値上げにどう対処し、安定した事業経営を行うかが喫緊の課題となります。

【今後の取組】感染症に関する研修に積極的に参加し、職員の意識・知識の向上に努め、施設内感染を起こさないように尽力します。また、すべての業務内容を見直し、入居者の生活レベルを下げないよう留意しながら、より一層の経費削減に努め、安定した経営が出来るよう事業運営に取り組んでまいります。

【決算】事業活動による収入	35,512,170円	事業活動による支出	54,085,255円
その他の活動による収入	11,431,490円	その他の活動による支出	1,163,520円
(運用基金繰入500,000円)		当期資金収支差額	36,782円

(10) もとよし福祉用具貸与事業所（福祉用具貸与）

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計
4	人	8	19	27	17	21	9	21	6	74	101
5	人	8	19	27	20	20	9	22	6	77	104
6	人	9	19	28	20	22	10	22	7	81	109
7	人	11	19	30	21	24	10	18	9	82	112
8	人	10	19	29	19	25	12	18	8	82	111
9	人	10	20	30	18	24	12	19	7	80	110
10	人	8	20	28	18	25	12	18	9	82	110
11	人	8	19	27	18	24	14	19	9	84	111
12	人	9	18	27	13	26	15	19	6	79	106
1	人	9	16	25	13	28	13	20	6	80	105
2	人	9	15	24	12	28	13	20	5	78	102
3	人	9	15	24	12	23	15	19	6	75	99
計	人	108	218	326	201	290	144	235	84	954	1280
前年度	人	86	257	343	206	212	118	200	86	822	1165

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年7月13日	新商品取扱い研修	本吉支所
7月29日	認知症キャラバンメイトスキルアップ研修会【Web】	本吉支所
8月3日	福祉用具ショートWeb研修【Web】	本吉支所
9月22日	介護サービス事業者集団指導資料確認【動画】	本吉支所
10月24日	令和4年度宮城県相談援助技法研修会【Web】	本吉支所
11月22日	感染症予防オンラインセミナー【Web】	本吉支所
12月16日	職員スキルアップ研修会「虐待防止研修」【Web】	本吉支所
令和5年2月22日	介護BCP作成セミナー【Web】	本吉支所
3月7日	高次脳基礎講座研修【Web】	本吉支所
3月22日	福祉用具ショートWeb研修【Web】	本吉支所
随 時	事業所内会議：定例会議及び伝達研修（随時開催）	

【成果】社協のサービス事業所として利用者の生活全般を支援できるよう、関係機関との連携も強化しながら総合的なサービスを心掛けて対応しました。

職員のスキルアップによる専門性の向上や周知活動など利用者確保に努め、利用者数も安定して月100名で推移するように経営に努めました。

（介護報酬目標達成度 109.3% 前年度 98.2%）

【課題】福祉用具専門相談員の専門性を求められることから、より一層のスキルアップを図っていく必要があります。

また、貸与価格の上限が設定されたことにより、福祉用具貸与の単価設定が上限を超えないように設定する必要がある、毎年貸与価格の見直しが必要な状況にあります。

【今後の取組】介護保険法の改正など情報収集を行いながら適切に対応していき、職員のスキルアップを図り利用者を増やすための取組みを継続していきます。

【決算】事業活動による収入	14,457,365円	事業活動による支出	13,869,066円
その他の活動による収入	200,000円	その他の活動による支出	103,860円
（運用基金繰入200,000円）		当期資金収支差額	684,439円

(11) もとよし福祉用具貸与事業所（特定福祉用具販売）

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2
5 人	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
6 人	1	0	1	0	1	0	0	0	1	2
7 人	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
8 人	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
9 人	0	0	0	1	2	0	1	0	4	4
10 人	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2
11 人	0	1	1	3	1	0	0	0	4	5
12 人	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
1 人	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2
2 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 人	1	1	2	6	6	1	3	1	17	19
前年度 人	3	4	7	5	5	1	3	0	14	21

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和4年7月13日	新商品取扱い研修	本吉支所
7月29日	認知症キャラバンメイトスキルアップ研修会【Web】	本吉支所
8月3日	福祉用具ショートWeb研修【Web】	本吉支所
9月22日	介護サービス事業者集団指導資料確認【動画】	本吉支所
10月24日	令和4年度宮城県相談援助技法研修会【Web】	本吉支所
11月22日	感染症予防オンラインセミナー【Web】	本吉支所
12月16日	職員スキルアップ研修会「虐待防止研修」【Web】	本吉支所
令和5年2月22日	介護BCP作成セミナー【Web】	本吉支所
3月7日	高次脳基礎講座研修【Web】	本吉支所
3月22日	福祉用具ショートWeb研修【Web】	本吉支所
随 時	事業所内会議：定例会議及び伝達研修（随時開催）	

【成果】福祉用具貸与と合わせて特定福祉用具を販売することで、利用者の在宅生活上の自立支援を補うことができた。

（介護報酬目標達成度 88.4% 前年度 63.8%）

【課題】特定福祉用具販売については、退院や施設退所時に依頼を頂くことが多く、月ごとの利用者数の変動が大きい状況にあります。

また、販売する福祉用具により、価格にも大きな開きがあり、売上高も月ごとに変動が大きい状況になっています。

【今後の取組】周知や職員のスキルアップを図りながら、特定福祉用具販売事業と福祉用具貸与事業を総体的に事業実施を行いながら、これまで以上に利用者の自立支援や介護者の負担軽減に繋がるサービスを提供に努め、事業所の安定経営に努めてまいります。

【決算】事業活動による収入 756,700円 事業活動による支出 756,700円
当期資金収支差額 0円